

学童期からの生活習慣病予防事業

報 告 書

(平成20年度～平成22年度)

千葉県

ま え が き

近年、高齢化の進展に伴い、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の発症が増加し、死亡原因の6割を占めるようになってきました。

食生活の多様化に伴う偏った栄養バランスや過剰なエネルギー摂取、交通手段の発達などによる運動不足や、生活の夜型化による睡眠不足など、私たちをとりまく社会・生活環境は、適切な生活習慣を身につけにくい状況にあります。

このような中で、一人ひとりが生活習慣を改善し、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を防ぎ、生活習慣病を発症させないためには、個人の自覚と努力に加え、家庭、学校、地域等の社会全体による啓発・支援が必要です。

また、生活習慣病は、長期間にわたる不適切な生活習慣が原因となることから、生活習慣の基礎が形成される学童期に、適切な習慣をしっかりと身につけることで、生涯にわたる予防効果が期待できます。

そこで千葉県では、市町村、教育委員会及び学校並びに地域の関係機関等の協働のもと、児童とその保護者に視点を向けた生活習慣病予防のモデル事業「学童期からの生活習慣病予防事業」を、平成20年度から3年にわたり実施いたしました。

この事業では、モデル事業実施地域（鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市他）の公立小学校に通う小学生とその保護者を主な対象に、健康状態、食生活や運動・身体活動等に関する実態調査を行い、調査結果に基づく健康課題を踏まえ、各モデル地域における関係機関が連携して、児童の生活習慣病予防のための様々な啓発活動等に取り組みました。

本報告書は、その実施内容と成果をまとめたもので、児童の健康教育や健康づくり等の資料としてお役立ていただければ幸いです。

本書の発行に当たり、御協力いただきました児童及び保護者の皆様、各市及び市教育委員会、また各種企業やボランティア団体、本事業の推進にあたり貴重な御意見をいただいた企画・評価委員会委員の方々に、深く感謝申し上げます。

平成23年3月

千葉県健康福祉部健康づくり支援課長

山崎 晋一朗

学童期からの生活習慣病予防事業報告書 目次

I 事業の概要	1
II ポピュレーションアプローチ	
i 鎌ヶ谷市	5
ii 鴨川市	18
iii 木更津市	30
iv 流山市	39
v 事業実績一覧	45
vi 県(健康づくり支援課)実施事業	49
III 実態調査	
i 児童と保護者の状況についての調査	
1 「子どもと保護者等の健康実態調査」の概要	53
2 平成 20 年度調査結果と考察	56
3 平成 22 年度調査結果と考察	77
ii 児童を取り巻く環境についての調査	
1 「保健環境調査」の概要	105
2 平成 21 年度及び平成 22 年度調査結果と考察	107
IV 事業評価と今後の課題	
i 事業の評価	115
ii 今後の課題	118
【参考資料】	
○平成 20 年度・平成 22 年度「子どもと保護者等の健康実態調査」調査票	121
○「しっかり運動, 早ね 早おき 朝ごはん」リーフレット	129
○平成 21 年度・平成 22 年度「保健環境調査」調査票	131
○「学校・家庭・地域の連携でこどもの生活習慣病予防を！」リーフレット	148
○「こどもの頃から望ましい生活習慣を！」リーフレット	150
○学童期からの生活習慣病予防事業実施要綱	152
○学童期からの生活習慣病予防事業企画・評価委員会設置要綱	158
○学童期からの生活習慣病予防事業企画・評価委員会委員名簿	160